

TOPPAN エッジ、「第7回 ものづくり AI / IoT 展」に出展  
業務改善・省力化などの課題解決に向け、IoT を活用したソリューションを紹介

TOPPAN ホールディングスのグループ会社である TOPPAN エッジ株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:添田 秀樹、以下 TOPPAN エッジ)は、2024年6月19日(水)から21日(金)に開催される「第7回 ものづくり AI / IoT 展」(「第36回 ものづくり ワールド」内/会場:東京ビッグサイト)に出展します。

本展示会は、IoT プラットフォーム/AI ソリューション/セキュリティ/通信機器など、製造業に向けた AI/IoT ソリューションが出展する展示会です。

TOPPAN エッジブース(南1ホール・小間番号 S2-1)では、「IoT・RFID でつながる、広がる」をテーマに、製造業の業務改善や省力化をサポートする最新の製品・サービス、事例を紹介します。



TOPPAN エッジブースのイメージ

© TOPPAN Edge Inc.

## ■ 主な展示内容

### ・事例で分かる IoT・RFID ソリューション

在庫管理、入出庫管理、工程管理、資産管理など、製造・物流・倉庫業で IoT/RFID が活用されている事例を多数紹介します。

### ・体験して分かる デモンストレーション

棚卸し作業を効率化する RFID 棚卸しアプリケーションソフト「Easy Checkout® Lite X」や、検品作業を効率化する「ボックス型 RFID リーダー」、ロボットによるインフラ施設内自動巡回点検サービス「BEP サービス」を活用したソリューションを展示。実際に体験いただきながら紹介します。

### ・見て触って分かる機能性 RFID タグ

製造装置の保全管理に最適な「温度センサー搭載 RFID タグ」や、配管などの早期異常検知に向けた「液漏れ検知 RFID タグ」、製造業の多様なニーズに対応する「金属対応/高耐久/耐熱/防水/オーバーフィルム一体型 RFID タグ」など、様々なシーンで活用することができる高機能な RFID タグを紹介します。

## ・オフィス DX プラットフォーム「CloakOne®」

「CloakOne®」とは「オフィスにおける人の認証をひと続きに」をコンセプトに、個人を認証するための認証キー（顔認証、カード、スマートフォン）および属性情報の連携機能を提供し、企業・大学などの DX 推進をサポートするクラウド型プラットフォームサービスです。

「CloakOne®」は顔写真収集・顔認証・ID マネジメント・カード発行・スマートフォン ID の 5 サービスから構成され、それらがシームレスに連携することで、オフィス内のスムーズな認証を実現します。今回は製造業向けに各種サービスと連携したソリューション（自動ドア、生産管理システム、AI 画像センシング）も紹介します。

## ■ 「第 7 回 ものづくり AI / IoT 展」について

名 称:「第 7 回 ものづくり AI / IoT 展」

会 期:2024 年 6 月 19 日(水)～6 月 21 日(金)

開 場 時 間:10:00～18:00(最終日のみ 17:00 まで)

会 場:東京ビッグサイト 南 1 ホール 小間番号:S2-1

主 催:RX Japan 株式会社

公 式 サイト:<https://www.manufacturing-world.jp/tokyo/ja-jp/about/aiotex.html>

\* 本ニュースリリースに記載された商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。

\* 本ニュースリリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。

以 上